

境港市が進める「赤ちゃん登校日」などの取り組みを全国に発信し、親子のきずなを再認識してもらう「赤ちゃんサミットin境港」が10月9、10の両日、境港市民会館などで開かれる。子どもたちが赤ちゃんと接すること、命について考え、子育て中のお母さんにもあらためてわが子への愛情を実感してもらう取り組みで、講演やシンポジウムなどがある。

子育て支援の充実を市の最重要課題の一つに掲

2.9.5 親子のきずな考えよう！

境港で「赤ちゃんサミット」

来月9、10日、講演やシンポ



境港市内の小学校での「赤ちゃん登校日」で赤ちゃんと触れ合う児童たち

ける同市は、4年前から市内の小学校などで「赤ちゃん登校日」に取り組んでいる。赤ちゃんと保護者が小学校を訪れ、児童が赤ちゃんをだっこしたり、お母さんたちから話を聞くもので、参加した小学生はもちろん、赤ちゃんの保護者への好影響も報告されている。

サミットはこの取り組みを広く発信し、地域ぐるみで子育てについて考えようと開かれる。

初日の10月9日には赤ちゃん登校日の模擬授業が行われるほか、小児科医で関東学院人間環境研究所の客員研究員でもある谷村雅子さんが基調講演する。全国に先駆け「赤ちゃん登校日」に取り組んだ鳥取大医学部の高塚人志准教授や平井伸治知事らを交えたシンポジウムもある。翌10日には児童虐待防止研修会も行われる。

問い合わせは同市役所子育て支援課、電話0859(47)1042へ。